



# 大洲高校 PTA 月報

令和2年12月号

会員寄稿

『蛭子能収のゆるゆる人生相談』←本のタイトルです」

3学年主任 岡村 直人

私は仕事柄、ネットサーフィンでいろいろと情報収集に努めています。結構前ですが、蛭子さんに関する記事みたいなを見つけました。かなり前なので詳細不明です(笑)。その中でこの本が紹介されていました。というか、蛭子さんが人生相談のコラムを持っているという記事だったと思います。蛭子さんの人生相談？

Q:中三の息子は、「将来は楽をして金を稼ぎたい」と言います。仕事で疲れて帰る私に、「そんなに働いて楽しいの?」と言い、口論になることも。蛭子さんはどう思いますか。

A:そんな息子には、小遣いも給食費も与えないで、自分で稼いでみたらと、言えればいいんですよ。(中略)オレは、金だけが自分を守ってくれていると思っています。どんな悩みも、すぐく困ったことだって、何でもお金が解決してくれるんです。(以下略)

なかなか、ストレート過ぎますね。教師という立場の私では、このような発言はできませんね(笑)。人にはそれぞれ立場があり、例えば、今書いているPTA月報でも、その内容に関しては、多くの人に共感や示唆を与える内容でないといよろしくないでしょう。「すべてのことはお金が解決してくれる」さすがに極論なので、この場で私がこれを「推す」ことはありません。しかし、蛭子さんは、家が貧しく、「小さかったときの一番の贅沢な飲み物は、ただの水道水に砂糖を入れたもの」だったそうです。実体験に基づく結論は、極論であっても本人にとっての真理です。これはこれで、学ぶことは多いのではと思います。

当たり障りのない教科書的な話ばかりを鵜呑みにするのではなく、こういった「ちょっと待てよ」といった話にも耳を傾ける価値があると思います。ただ、興味本位で注意を引くだけの発言も多い、現代の情報化社会ですから、その人の実体験に基づいた、論拠のしっかりとしたものではないけませんし、結論だけをくみ取るのではなく、その過程をしっかりと吟味すべきでしょう。

というわけで、今回『蛭子能収のゆるゆる人生相談』というタイトルの本を「推す」次第です。

Q:子どもが野菜嫌いです

A:子どもに嫌いなモノを食べさせる人は親失格

Q:夫と義理の兄の仲が悪くて困っています

A:兄弟は他人、仲良くする必要なし

Q:友達がいることはそんなに大切なことですか

A:“誘われても断れる友達”以外必要なし

Q:私の夫は些細なことで怒ります、もっと器の大きな人になってほしい

A:人の器は大きくなりません

いかがでしょう、興味を持たれた方には、ご一読を勧めます。